

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

第2期大分市における密集市街地の改善(防災・安全)
事後評価書

大分県大分市

令和3年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

令和3年 3月

計画の名称	第2期大分市における密集市街地の改善（防災・安全）									
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）			交付対象	大分市					
計画の目標	『住宅密集市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。』									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 密集市街地における接道不良住宅割合 密集市街地における不燃領域率 									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考	
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
①	住宅市街地総合整備事業の整備計画データをもとに接道不良住宅率をH27年度の50%をH31年度には35%まで減少させる。 (接道不良住宅率) = (接道不良住宅棟数) / (区域内全住宅棟数) (%)						50%	-	35%	
②	住宅市街地総合整備事業の整備計画データをもとに不燃領域率をH27年度の36%をH31年度には41%まで向上させる。 (不燃領域率) = 空地率 + (1 - 空地率 / 1.00) × 不燃化率 (%)						36%	-	41%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	721百万円	A	721百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
内部行政評価（令和3年3月）による意見及び国が定める「地震時等に著しく危険な密集市街地」における最低限の安全性確保の指標評価 ※令和2年度末の達成状況	令和3年3月
公表の方法	市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1	住宅	一般	大分市	直接	市	浜町芦崎新川地区 住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・20.5ha						612	
1-A2	住宅	一般	大分市	直接	市	三佐北地区 住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・5.9ha						109	
合計												721.0		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0.0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
合計															0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

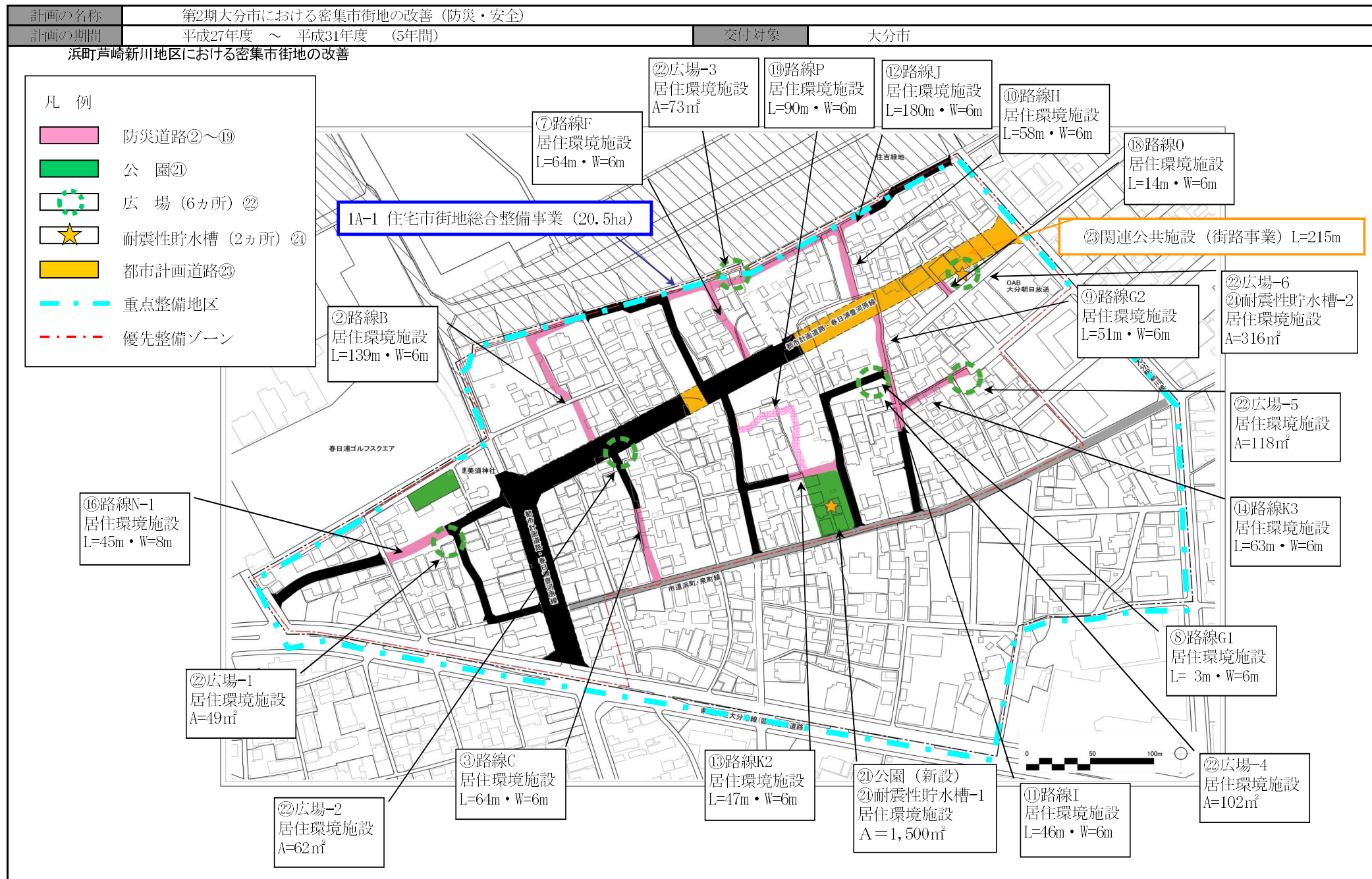
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 道路整備により接道不良住宅が減少した。また、道路整備に伴う家屋移転が進む事で土地の売買が活発となり、地域全体として土地の有効活用が進んでいる。 住宅密集地に骨格道路となる防災道路等を整備したことで、不燃領域率が向上するとともに地震時等の避難路及び緊急車両の経路が確保された。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①（密集市街地における接道不良住宅割合）	最終目標値	35%	目標値と実績値に差が出た要因	道路整備に伴う家屋移転が進むことで土地の売買が活発となり、接道不良住宅の減少に繋がった。											
		最終実績値	34%													
	指標②（密集市街地における不燃領域率）	最終目標値	41%	目標値と実績値に差が出た要因	用地買収の難航により道路未整備箇所が一部残ったことで、不燃領域率は目標値を若干下回った。											
		最終実績値	40%													
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> 公園を整備したことで災害時の一時的な防災拠点が確保された。また、地域の防災訓練や日常の交流の場として活用されており、地域のコミュニティ活性化が図られた。 防火水槽を整備したことで地震時等の消防水利が確保された。 平成28年度に「地震時等に著しく危険な密集市街地」の解消に至る等、これまでの取り組みにより災害時における安全性の向上について一定の成果を果たすことができた。 														

3. 特記事項（今後の方針等）

用地買収の難航により整備完了に至っていない道路の一部については引き続き整備予定である。																
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(参考図面) 地域住宅支援



(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	第2期大分市における密集市街地の改善 (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	大分市

三佐北地区における密集市街地の改善

- 凡 例
- 防災道路
 - 広場・耐震性貯水
 - 住宅市街地総合整備事業区域 (5.9ha)
 - 都市防災推進事業区域 (62.1ha)
 - 他事業にて施工

